

7

シグマ研究委員会核データ専門部会FP核データワーキンググループ  
(幹事会) 会合議事録

日時：平成2年5月30日 13:30~17:30

場所：日本原子力研究所 東海研究所 研究2棟 304室

出席者：中川、中島、杉(原研)、松延(住原工) 渡部(川重)、川合(東芝)

配布資料：秋の大会発表アンケート集計結果

### 議 事

#### 1. 原子力学会の秋の大会への発表方法の検討

JENDL-3 FPデータライブラリー作成について、原子力学会秋の大会でシリーズ発表として報告するため、その発表内容の検討を行った。

##### (1) シリーズ発表の構成の検討

予めワーキンググループメンバーを対象にアンケートを採ったが、その集計結果は下記の通りであり、賛成の多かったA案が採用された。

A案(Quantity別) : 5人

B案(作業分担別) : 4人

##### (2) 各発表の内容検討

掲記について検討し、概略を以下のように決めた。

- ・統一表題：JENDL-3 FP核データライブラリーの作成
- ・発表内容(評価の手順よりも結果にウェイトを置いて書く。)

###### i. 概要(中川、FPND WG)

意義、歴史、ファイル構成、評価の流れ

###### ii. 核モデルパラメータ(渡部、佐々木、飯島、FPND WG)

光学模型パラメータ、レベルスキームとレベル密度パラメータ、 $\Gamma_\gamma$ と  $D_{obs}$ 、変形パラメータ( $\beta$ )

###### iii. 共鳴パラメータと中性子捕獲断面積(川合、瑞慶覧、中島、FPND WG)

共鳴パラメータ、非分離共鳴パラメータ、熱中性子断面積、100 keV 以

上の断面積、積分テストの反映

IV. 非弾性散乱断面積としきい反応断面積 (杉、飯島、FPND WG)

非弾性散乱断面積は、DWBA計算にウェイトを置く。しきい反応断面積は、Kalbach 定数と 14 MeV の系統性、そして評価結果の例を図に示す。

V. まとめ (松延、FPND WG)

F P データとしての充足度、精度向上、また今後の活動目標の積分テスト、出版の P R (グラフ集、多群化定数表、パラメータデータ集等)

2. その他合意事項

- ・秋の大会の発表に準じて学会欧文誌、JNST、投稿用の原稿を作成する。
- ・発表申込用の予稿は、6/25 までに川合委員宛に郵送する。川合委員は 5 件をまとめて発表申込を行う。

以上